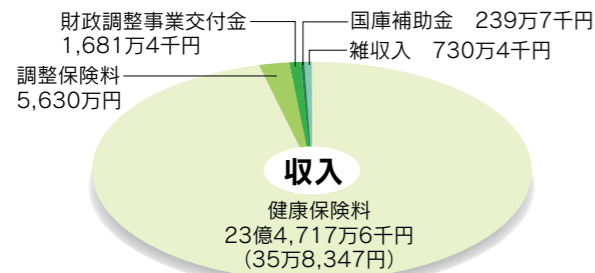
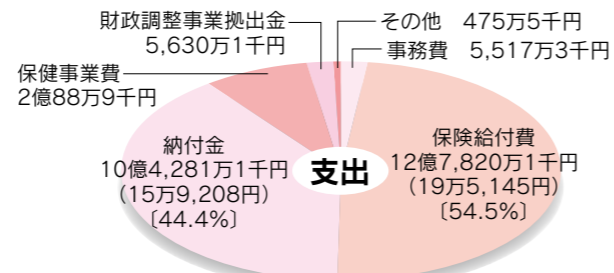


高齢者支援の納付金の 大幅増加により負担増大 コロナ禍の中、被保険者支援のため 保険料率を引き下げ！ 7.0% → 6.8%

健康保険勘定予算 ()は1人当たり額 []は保険料に占める割合



収入 24億2,999万円



支出 26億3,813万円

※赤字は別途積立金を取り崩し補填します。

予算の基礎数値

年間平均被保険者数/人	6,550
平均標準報酬月額/円	342,079
標準賞与額/円	1,291,039
一般保険料率	6.641%
調整保険料率	0.159%
合計保険料率	6.800%

健康スコアリングレポートについて

健康スコアリングレポートとは、厚生労働省や経済産業省などが連携し、各健康保険組合に通知するもので、加入者の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組状況等について、全健康保険組合平均や業態平均と比較したデータを見える化したものです。

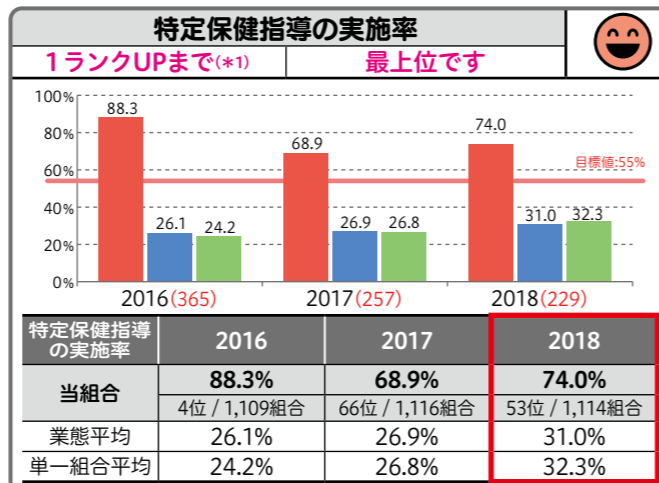
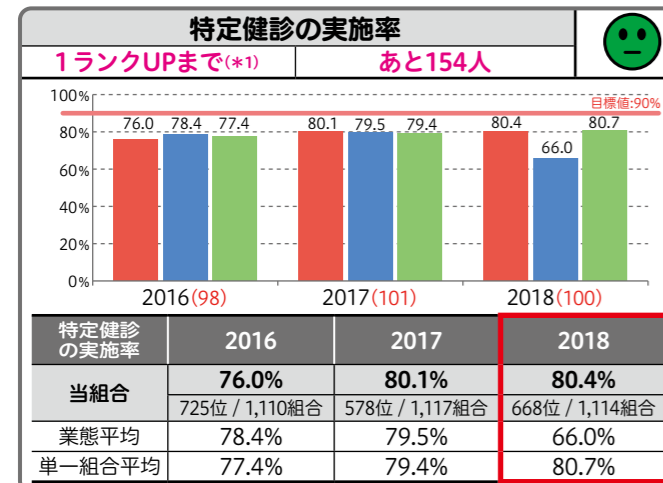
企業と健康保険組合が従業員等の健康に関する問題意識を共有することにより、両者の連携（コラボヘルス）が促進され、疾病予防や健康づくりの取り組みが活性化されることを目的とするものです。

全健康保険組合平均を100とした際の各組合の相対値を高い順に5等分し、「良好😊」から「不良😞」の5段階で表記しています。



当組合の特定健診・特定保健指導の実施状況

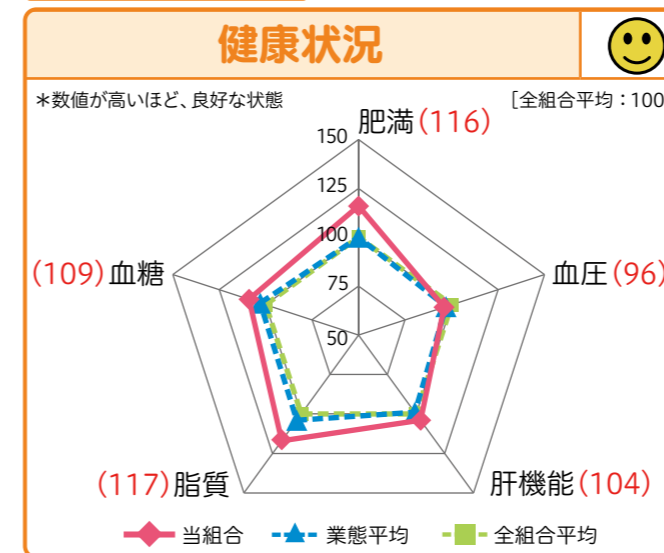
特定健診・特定保健指導



特定健診の実施率	加入者全体		被保険者	被扶養者	男性	女性	40代	50代	60代~
	当組合	80.4%	96.5%	43.0%	96.4%	58.2%	79.8%	81.6%	78.6%
業態平均	66.0%	77.6%	36.9%	76.0%	52.8%	65.1%	68.3%	62.9%	
全組合平均	78.2%	91.0%	47.2%	89.2%	66.0%	79.9%	80.6%	69.5%	

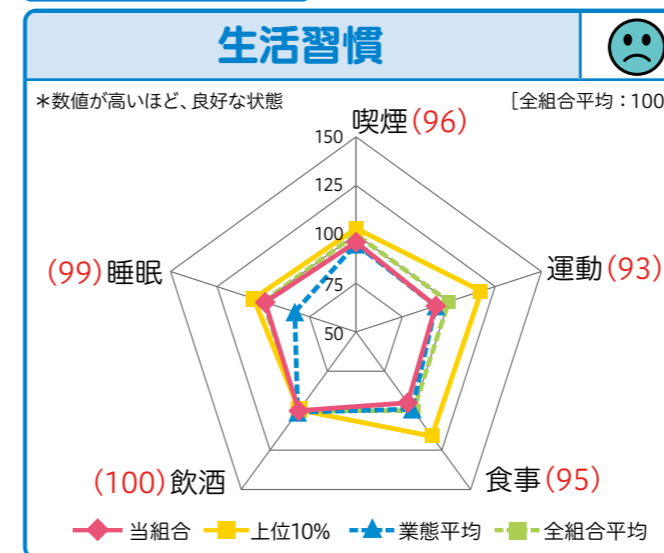
※特定健診とは 日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの方を対象にメタボリックシンドロームに着目した健診を行います。
 ※特定保健指導とは 特定健診の結果から生活習慣病の発症リスクが高く生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して専門スタッフ(保健師、管理栄養士など)が生活習慣を見直すサポートをします。
 ※1:1ランクUPは5段階評価のランクを1つ上げるための目安を記載。

当組合の健康状況 生活習慣病リスク保有者の割合



リスク	良好	中央値と同程度	不良
肥満リスク	😊	😐	😞
血糖リスク	😊	😐	😞
血圧リスク	😊	😐	😞
肝機能リスク	😊	😐	😞
脂質リスク	😊	😐	😞
血糖リスク	😊	😐	😞

当組合の生活習慣 適正な生活習慣を有する者の割合



リスク	良好	中央値と同程度	不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣リスク	😊	😐	😞	あと37人
運動習慣リスク	😊	😐	😞	あと71人
食事習慣リスク	😊	😐	😞	あと66人
飲酒習慣リスク	😊	😐	😞	あと23人
睡眠習慣リスク	😊	😐	😞	あと53人

健康状況の経年変化	2016	2017	2018
肥満	当組合 119	114	116
	業態平均 100	101	100
血圧	当組合 96	95	96
	業態平均 98	98	97
肝機能	当組合 108	103	104
	業態平均 102	101	99
脂質	当組合 123	111	117
	業態平均 106	106	104
血糖	当組合 101	98	109
	業態平均 103	104	103

生活習慣の経年変化	2016	2017	2018
喫煙	当組合 94	94	96
	業態平均 96	96	95
	上位10% 101	101	103
運動	当組合 90	93	93
	業態平均 99	94	93
	上位10% 115	117	118
食事	当組合 91	91	95
	業態平均 102	103	99
	上位10% 107	106	116
飲酒	当組合 100	100	100
	業態平均 101	102	101
	上位10% 100	101	100
睡眠	当組合 93	98	99
	業態平均 85	83	83
	上位10% 106	107	105

2021年度は高齢者支援の納付金が増加することにより赤字になりますが、今後も引き続き高齢者人口が増えますので赤字の状況は続きます。赤字が続くと保険料をアップしなければならなくなりますが、健康スコアリングレポートに記載されている各項目の評価が高いと、国などからインセンティブ（納付金の減額措置：最大10%）が受けられます。結果、皆さんの健康保険料もアップの必要がなくなるかもしれません。上記の各項目評価を見ると、特定保健指導の結果は非常に優秀です。ただし、①被扶養者（ご家族）の健康診断の受診率が低いです。②生活習慣の中で喫煙と食事のリスクが高いです。ご家族の健康診断受診の促進と禁煙やバランスのとれた食事、規則正しい食生活に取り組みましょう。